

今週のビルマのニュース  
2010年4月9日【1014号】

**NLDが国民にメッセージ「民主化運動続ける」**

・国民民主連盟（NLD）は6日、国民に向けたメッセージを発表した。この中でNLDは「当局による党員の逮捕や脅迫・妨害行為等を受けながらも、民主主義と国民和解をもたらすために奮闘してきたが、当局による一方的な抑圧のせいで努力は実らなかった。これについてNLDはビルマ国民に心から謝りたい」と述べた。さらに「民主化を求める運動は止めない。アウンサンスーチー氏の指導の下、非暴力な方法を通じて民主化を目指し続ける」と約束した。

【背景】国民民主連盟（NLD）は3月29日、軍政が発表した選挙関連法が不公平であることを理由に、政党としての登録手続きを行わず、総選挙に参加しないことを決めた。5月7日までに登録手続きを行わなければ政党として存続が認められない。

**アウンサンスーチー氏、NLDの不参加決定を歓迎**

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏の自宅を訪れた弁護士によれば、氏は、国民民主連盟（NLD）が軍政が今年予定している総選挙に参加しないことを決めたことを歓迎した（7日AFPほか）。

**ASEAN首脳会談と加盟国議員の動き**

・ハノイで8・9日、ASEAN首脳会議が行われ、ビルマからはテインセイン首相が出席した。議長声明は総選挙が自由・公正に行われることが重要だとしたが、軍政の批判は避けた（9日ロイターほか）。

・ASEAN首脳会議に合わせ、インドネシアなど5つのASEAN加盟国の国会議員計105人が7日、ASEAN首脳宛の請願書を発表し、ビルマで行われる総選挙の結果を認めないことや、ASEANからのビルマの除名を検討することなどを求めた。

**国連による調査委員会設置、3か国が公式に支持**

・ビルマで人道に対する罪が起きている疑いについて、チェコ共和国は国連が調査委員会の設置を検討するべきとの考えを示した。既に英・豪の2か国が同委設置を公式に支持している（8日イラワディ）。

**注目の報告書**

フリー・ビルマ・レンジャーズ（FBR）等共著「人権侵害や国際犯罪の被害者となる国内避難民の子どもたち」（7日発表）。

ビルマ東部の紛争地域にいる数十万の国内避難民の3分の1は子どもで、軍事攻撃や度重なる移動や貧困により極めて不安定な生活環境に置かれた上、超法規的処刑や拷問・レイプ等を目撃したり、子ども兵士として軍に強制入隊させられることもある。FBRは国連による調査を求めている。

<http://partnersworld.org>

**ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など**

3月12日 マグウェ管区の村で井戸等建設のため、約3万3,000ドルの草の根無償資金協力

**イベント情報**

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しアウンサンスーチー氏を含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、5～9日 15～16時）

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」主催：ビルマ民主化同盟（井の頭恩賜公園、11日 10時半～）

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」（コニカミノルタプラザ、3～14日 10時半～19時。最終日は15時まで）。

・ビルマ軍政の不正で非民主的な2010年総選挙に反対、アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟を支持するアピール行動 在日ビルマ・ロヒンギャ協会（在日ビルマ大使館前、22日 15時～16時）

・アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門候補作品「ビルマVJ 消された革命」5月15日より渋谷・イメージフォーラムで公開。4月下旬にヤン・クログスガード助監督が来日予定。

**もっと詳しい情報は**

☆Twitter公式アカウントはこちらです  
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ  
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165